

学校の特徴

① 短期コース専門のカリキュラム

短期のための授業計画に沿って学習します。1 年や 2 年の長期コースの一部の学習ではありません。

② 優秀な講師陣

経験豊富なレベルの高い講師が担当します。

③ 午前は会話を中心にした日本語レッスン

「話す」や「聞く」を優先的に学び、すぐに使える日本語を学べます。

④ 午後は日本語能力試験対策に特化したプログラム

一つ上の試験に合格するために必要な知識や技術を短期間で学ぶことができる授業です。

⑤ 授業時間数が多い

午前・午後の授業を受けた場合、1 学期に 250 時間以上の授業が受けられます。

実用日本語コース

生活に必要な「使える」日本語の習得を目指し、「聞く」、「話す」を中心に学習します。日本語能力試験にも準拠していますので、コース修了後ひとつ上の資格取得を目指します。

【講座概要】 1 日 4 限 (講座内容は変更となる場合があります。)

技能	詳細
聞く	相手が伝えたいことを理解できる力を養う。
話す	日常生活の中で自分の言いたいことを伝えられる力を養う。
読む	日常生活の中で目にする文字や文書を理解し読める力を養う。
書く	日常生活に必要な文が書ける力を養う。

日本語能力試験講座

日本語能力試験に合格するための短期集中講座です。N3 と N2 を目標とするクラスを開講します。

【講座概要】 1 日 2 限 (講座内容は変更となる場合があります。)

テーマ	詳細
文字・語彙	日本語を使って何かをするときに必要な文字・語彙を学ぶ
文法・読解	文法の知識や長い文章を理解する力をつける。
聴解	聞いて理解する力をつける。

【試験認定の目安】

N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる	
	読む	・ 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 ・ 一般的な話題に関する読物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。
	聞く	・ 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。

N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる	
	読む	・ 日常的な話題について書かれた具体的な内容を表わす文章を、読んで理解することができる。 ・ 新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 ・ 日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。
	聞く	・ 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。

2026 年度 募集要項 (SEIKO)

【コース・講座概要】 (最少開講人数 5 名 人数に満たない場合、開講を変更する場合があります。)

コース・講座名	授業時間	1 限	授業数 (1 日)	曜日	日本語 レベル
実用日本語コース	09 : 00－12 : 20	45 分	4 限	月一金	CEFR A1-B1 入門～N3 程度
日本語能力試験講座	13 : 00－14 : 35		2 限	月一木	

【期間】

コース・講座名	学期	期間	休暇期間
実用日本語コース	04 月期	2026/03/30 - 06/12	05/07 - 05/08
	07 月期	2026/06/29 - 09/11	08/10 - 08/14
	10 月期	2026/09/28 - 12/11	11/02 - 11/06
	01 月期	2027/01/04 - 03/12	---
日本語能力試験講座	04 月期	2026/04/01 - 06/02	05/07 - 05/08
	07 月期	2026/07/01 - 09/01	08/10 - 08/14
	10 月期	2026/09/30 - 12/01	11/02 - 11/06
	01 月期	2027/01/06 - 03/02	---

【学費】

コース・講座名	入学金	授業料	諸費用	合計
実用日本語コース	10,000 円	180,000 円	30,000 円	220,000 円
日本語能力試験講座	10,000 円	100,000 円	10,000 円	120,000 円

*1 実用日本語コースの受講者で、日本語能力試験講座の受講を希望する場合は、講座の授業料を「半額」免除します。

*2 諸費用には、テキスト、諸試験、施設費、証明書発行の費用を含みます。

*3 各学期のコース・講座開始までに入学を辞退する申し出のあった場合、授業料のみを返還します。入学金、諸費用は返還できません。ただし、各学期のコース・講座開始後は学費の返還は理由の如何にかかわらず一切できません。

*4 海外送金にかかる手数料は本人負担です。手数料が引かれて送金された場合は、来日後に学生より徴収します。

【振込先】

☆銀行振込の場合

銀行名	りそな銀行	BANK NAME	RESONA BANK, LTD
支店名	生野支店	BRANCH NAME	IKUNO BRANCH
店番	122	BRANCH NO.	122
口座番号	0212326	ACCOUT NO.	0212326
口座名	株式会社セイコー	ACCOUNT NAME	SEIKO Co. Ltd.
銀行住所	大阪市生野区中川 6-9-18	BANK ADDRESS	6-9-18 NAKAGAWA, IKUNO-KU, OSAKA, JAPAN
銀行電話番号	06-6751-1250	BANK PHONE NO.	06-6751-1250
SWIFT CODE	DIWAJPJT	SWIFTCODE	DIWAJPJT

☆クレジットカードやオンライン経由の振込の場合

Flywire(フライワイヤー)を利用し、オンラインを経由して学費を振込むことも可能です。オンライン経由の場合も、振込手数料の負担をお願いいたします。詳しくは当校のホームページを参照してください。

【出願書類】 ①入学願書 ②パスポート又は在留カードのコピー

【注意点】

- ① コース修了時に総合評価(D 以上)と出席率(85%以上)で修了証を発行しますが、講座には発行しません。
- ② 海外から来日し、当校のコースを受講する場合、留学の在留資格申請はできません。
- ③ 鉄道規則により、定期券の学生割引は適用されません。
- ④ 「ひらがな」は事前に学習しておいてください。